

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社海帆 上場取引所 東
コード番号 3133 URL https://www.kaihan.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守田 直貴
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 水谷 準一 TEL 052-586-2666
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,803	20.8	△448	-	△446	-	△528	-
2023年3月期第3四半期	1,492	-	△362	-	△404	-	△508	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △528百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △508百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△11.88	-
2023年3月期第3四半期	△17.38	-

(注) 2023年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,780	1,030	27.2
2023年3月期	2,660	290	9.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,029百万円 2023年3月期 255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,344	112.3	△643	-	△644	-	△782	-	△15.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	50,378,900株	2023年3月期	37,888,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	44,492,900株	2023年3月期3Q	29,228,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和され、景気回復の兆しが見られたものの、ウクライナ情勢等による原材料価格の上昇等、今後の経済活動への新たな懸念事項が生じており、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する国内の外食業界におきましては、国内及びインバウンド需要に回復の兆しがみられておりますが、ウクライナ情勢等による原材料価格等の上昇は大きな影響が懸念され、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループでは、この環境下においても前期に引き続き好調な業態である「新時代」を当四半期末現在では20店舗と運営しております。また、前期に子会社化した株式会社S S Sは当社と同様に居酒屋事業を運営し、当四半期末現在では19店舗を運営しております。株式会社S S Sはオペレーションや原材料等の共通点があり、従業員の独立を支援する店舗展開なども行っていることから、今後も多くのシナジーを発揮することが可能であると考えております。

また、今後、新型コロナウイルス感染症と同様の事象が発生した場合に備え、新たな収益基盤を確立するため、再生可能エネルギー事業へ進出し、太陽光発電設備の取得等を推し進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,803,453千円(前年同期比20.8%増)、営業損失448,750千円(前年同期は営業損失362,874千円)、経常損失446,092千円(前年同期は経常損失404,535千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失528,646千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失508,087千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

当セグメントにおきましては、当社は新時代を含め既存店28店舗(内F C 9店舗)の業務の効率化とコストの見直しによって、また、株式会社S S Sは居酒屋店舗を中心として19店舗(内F C 18店舗)の展開によって、売上高は1,802,136千円、セグメント利益は141,465千円となりました。

(再生可能エネルギー事業)

当セグメントにおきましては、2022年10月21日に新たにKAIHAN ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日付でKR ENERGY JAPAN合同会社へ商号変更しております。)を、2023年3月31日にはKRエナジー1号合同会社を設立し再生可能エネルギー事業を開始いたしました。当第2四半期連結累計期間より新たな太陽光発電設備の開発の着手による固定資産の取得及び一部の設備で工事が完了し電力会社との系統連系が行われたことにより売電が開始されております。その結果、売上高は1,317千円、セグメント損失は183,348千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,780,962千円(前連結会計年度末比1,120,704千円増加)となりました。これは主として短期貸付金が212,000千円減少した一方で、現金及び預金が517,831千円増加したこと、また、建設仮勘定が461,726千円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,750,846千円(前連結会計年度末比381,240千円増加)となりました。これは主として長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少が134,692千円、リース債務の減少が115,122千円あった一方で、短期借入金が748,500千円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,030,115千円(前連結会計年度末比739,463千円増加)となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が528,646千円減少した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ651,283千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は27.2%(前連結会計年度末は9.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました通期の業績予想を変更いたします。詳細につきましては、本決算短信と同日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

第3四半期以降に関しましては既存の飲食店舗による売上高及び収益を見込んでおり、期中の新たな出店計画などはございません。

当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	315,114	832,946
売掛金	69,071	126,043
未成工事支出金	54,872	54,872
原材料及び貯蔵品	11,176	15,843
短期貸付金	560,000	348,000
その他	166,099	163,671
貸倒引当金	△1,001	△1,184
流動資産合計	1,175,333	1,540,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	289,619	354,601
リース資産（純額）	462	142
建設仮勘定	464,927	926,653
その他（純額）	41,520	250,364
有形固定資産合計	796,530	1,531,761
無形固定資産		
のれん	364,317	334,891
その他	14,090	17,829
無形固定資産合計	378,407	352,721
投資その他の資産		
敷金及び保証金	268,812	247,619
その他	68,536	159,580
貸倒引当金	△27,554	△51,107
投資その他の資産合計	309,794	356,092
固定資産合計	1,484,732	2,240,576
繰延資産		
創立費	191	191
繰延資産合計	191	191
資産合計	2,660,257	3,780,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,144	160,636
短期借入金	1,500	750,000
1年内返済予定の長期借入金	477,002	456,347
リース債務	98,545	86,712
未払法人税等	31,524	26,273
未払金	342,425	303,980
未成工事受入金	66,949	66,949
事業整理損失引当金	65,180	20,753
株主優待引当金	10,837	6,433
その他	63,950	65,060
流動負債合計	1,333,060	1,943,148
固定負債		
長期借入金	701,815	587,777
リース債務	308,739	193,616
その他	25,990	26,304
固定負債合計	1,036,544	807,697
負債合計	2,369,605	2,750,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,280	1,661,563
資本剰余金	380,203	1,031,487
利益剰余金	△1,135,356	△1,664,002
株主資本合計	255,127	1,029,048
新株予約権	35,525	1,067
純資産合計	290,652	1,030,115
負債純資産合計	2,660,257	3,780,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,492,759	1,803,453
売上原価	520,553	596,148
売上総利益	972,206	1,207,304
販売費及び一般管理費	1,335,080	1,656,055
営業損失(△)	△362,874	△448,750
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,727	28,820
受取保険金	1,440	—
その他	4,697	5,098
営業外収益合計	15,864	33,919
営業外費用		
支払利息	22,399	29,413
助成金返還損	30,960	—
その他	4,165	1,847
営業外費用合計	57,524	31,261
経常損失(△)	△404,535	△446,092
特別利益		
固定資産売却益	1,100	6,017
事業整理損失引当金戻入額	—	14,908
資産除去債務戻入益	5,294	—
特別利益合計	6,394	20,926
特別損失		
減損損失	25,138	36,401
固定資産除却損	811	25,152
事業整理損失引当金繰入額	33,674	—
その他	600	2,520
特別損失合計	60,224	64,074
税金等調整前四半期純損失(△)	△458,365	△489,240
法人税、住民税及び事業税	65,996	42,900
法人税等調整額	△16,273	△3,493
法人税等合計	49,722	39,406
四半期純損失(△)	△508,087	△528,646
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△508,087	△528,646

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△508,087	△528,646
四半期包括利益	△508,087	△528,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△508,087	△528,646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において営業損失448,750千円、経常損失446,092千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失528,646千円を計上しており、また、前期末においては単体で2019年3月期より連続して営業損失、経常損失及び親会社に帰属する当期純損失を計上しております。これらの状況により、継続企業の前題に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、ウクライナ情勢による原材料価格等への影響が不透明な状況下ではありますが、以下のとおり対応を進めてまいります。

飲食事業においては、2022年7月15日開催の取締役会において、株式会社SSSの株式の100%取得を決議し、子会社化しました。株式会社SSSは当社と同様に居酒屋事業を運営し、オペレーションや原材料等の共通点があり、また、従業員の独立を支援する店舗展開による利益率の高い店舗運営を行っていることから、そのノウハウを十分に当社グループの飲食事業にて活用していきます。また食材原価と人件費の管理を徹底して行い利益率の向上を図ります。さらに金融機関との緊密な関係を維持し、継続的な支援をいただけるよう定期的に協議を行ってまいります。

再生可能エネルギー事業においては、2022年10月21日にはKAIHAN ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日付でKR ENERGY JAPAN合同会社へ名称変更しております。)、2023年3月31日にはKRエナジー1号合同会社を新たに設立し、再生可能エネルギー事業にも進出し、飲食事業以外の安定的な収益基盤の確保に向け、太陽光発電施設の建設を行い、売電もしくは太陽光発電施設そのものの売買を始めております。さらに取得した太陽光発電設備の土地を有効活用する事を目的として、発電設備の下にて農作物の栽培を行うことも予定しており、そこで収穫した農作物を、当社グループが運営する飲食店へ供給する事により、事業においてシナジーが生じ、将来的な業績の改善に寄与するものと考えております。再生可能エネルギー事業に必要な資金に関しては、金融機関からの調達を予定しております。

今後も上記施策を推進し、収益力の向上と財務体質の強化に取り組みますが、これらの改善策及び対応策の一部は実施中であり、現時点では継続企業の前題に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前題に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年6月28日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2022年8月9日に効力が発生しております。これにより、資本金が1,355,769千円、資本準備金が1,342,457千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金の金額2,410,043千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が651,283千円、資本剰余金が651,283千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,661,563千円、資本剰余金が1,031,487千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	飲食事業	再生可能エネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,492,759	—	1,492,759	—	1,492,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,492,759	—	1,492,759	—	1,492,759
セグメント損失(△)	△362,874	—	△362,874	—	△362,874

(注)セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、KAIHAN ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日付でKR ENERGY JAPAN合同会社へ商号変更しております)を連結の範囲に含めたことにより、再生可能エネルギー事業の当第3四半期連結会計期間のセグメント資産の金額は、340,302千円となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,138千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飲食事業	再生可能エネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,802,136	1,317	1,803,453	—	1,803,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,802,136	1,317	1,803,453	—	1,803,453
セグメント利益又は損失 (△)	141,465	△183,348	△41,883	△406,867	△448,750

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等65,568千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△472,435千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、「再生可能エネルギー事業」セグメントの資産金額は891,050千円増加しております。これは主に、KRエナジー1号合同会社における建設仮勘定並びに現金及び預金の増加によるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において36,401千円であります。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社は、当第3四半期連結累計期間において営業損失448,750千円、経常損失446,092千円及び四半期純損失を528,646千円計上しており、また、前期末においては4期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上しております。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するための対応策は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。